

八

本貫		高知縣士族		生年下月		明治三年五月		姓名		永野修身	
族籍		高知縣士族		生年下月		明治三年五月		姓名		永野修身	
父		養父		母		養母					
日		大日本帝國海軍兵學校教授卒業		海軍少尉候補生ヲ命ス		橋立乗組ヲ命ス		橋立乗組ヲ免シ朝日乗組ヲ命ス		任海軍少尉	
月		海軍省		海軍省		海軍省		海軍省		内閣	
年		海軍省		海軍省		海軍省		海軍省		海軍省	
日		海軍省		海軍省		海軍省		海軍省		海軍省	
月		海軍省		海軍省		海軍省		海軍省		海軍省	
年		海軍省		海軍省		海軍省		海軍省		海軍省	
日		海軍省		海軍省		海軍省		海軍省		海軍省	
月		海軍省		海軍省		海軍省		海軍省		海軍省	
年		海軍省		海軍省		海軍省		海軍省		海軍省	
日		海軍省		海軍省		海軍省		海軍省		海軍省	
月		海軍省		海軍省		海軍省		海軍省		海軍省	
年		海軍省		海軍省		海軍省		海軍省		海軍省	
日		海軍省		海軍省		海軍省		海軍省		海軍省	
月		海軍省		海軍省		海軍省		海軍省		海軍省	
年		海軍省		海軍省		海軍省		海軍省		海軍省	
日		海軍省		海軍省		海軍省		海軍省		海軍省	
月		海軍省		海軍省		海軍省		海軍省		海軍省	
年		海軍省		海軍省		海軍省		海軍省		海軍省	
日		海軍省		海軍省		海軍省		海軍省		海軍省	
月		海軍省		海軍省		海軍省		海軍省		海軍省	
年		海軍省		海軍省		海軍省		海軍省		海軍省	
日		海軍省		海軍省		海軍省		海軍省		海軍省	
月		海軍省		海軍省		海軍省		海軍省		海軍省	
年		海軍省		海軍省		海軍省		海軍省		海軍省	
日		海軍省		海軍省		海軍省		海軍省		海軍省	
月		海軍省		海軍省		海軍省		海軍省		海軍省	
年		海軍省		海軍省		海軍省		海軍省		海軍省	
日		海軍省		海軍省		海軍省		海軍省		海軍省	
月		海軍省		海軍省		海軍省		海軍省		海軍省	
年		海軍省		海軍省		海軍省		海軍省		海軍省	
日		海軍省		海軍省		海軍省		海軍省		海軍省	
月		海軍省		海軍省		海軍省		海軍省		海軍省	
年		海軍省		海軍省		海軍省		海軍省		海軍省	
日		海軍省		海軍省		海軍省		海軍省		海軍省	
月		海軍省		海軍省		海軍省		海軍省		海軍省	
年		海軍省		海軍省		海軍省		海軍省		海軍省	
日		海軍省		海軍省		海軍省		海軍省		海軍省	
月		海軍省		海軍省		海軍省		海軍省		海軍省	
年		海軍省		海軍省		海軍省		海軍省		海軍省	
日		海軍省		海軍省		海軍省		海軍省		海軍省	
月		海軍省		海軍省		海軍省		海軍省		海軍省	
年		海軍省		海軍省		海軍省		海軍省		海軍省	
日		海軍省		海軍省		海軍省		海軍省		海軍省	
月		海軍省		海軍省		海軍省		海軍省		海軍省	
年		海軍省		海軍省		海軍省		海軍省		海軍省	
日		海軍省		海軍省		海軍省		海軍省		海軍省	
月		海軍省		海軍省		海軍省		海軍省		海軍省	
年		海軍省		海軍省		海軍省		海軍省		海軍省	
日		海軍省		海軍省		海軍省		海軍省		海軍省	
月		海軍省		海軍省		海軍省		海軍省			

廿六年九月廿日任海軍中尉	內閣
十月廿日獲頒領事府附被免	海軍省
海軍砲術練習所學生被仰付	海軍省
十月廿日叙從七位	
十月廿日海軍砲術練習所學生被免	海軍省
運送船乘組被仰付	海軍省
有明丸二乘組監督官職務ヲ執行スルニ	訓令
廿年二月廿日補運送船並督官	海軍省
有明丸二乘組一	海軍省
四月廿日免本戰佐世保鎮守府附被仰付	海軍省
四月廿日免佐世保鎮守府附補才一艦隊附	海軍省
四月廿日免本戰艦隊補才負トシテ香港ニ乘組被仰付	海軍省
廿年一月廿日任海軍大尉	海軍省
繼隊補才負トシテ香港ニ乘組被仰付置候處被免	海軍省
補旅順口海軍工作廠員	海軍省

二月廿	叙正七位	
三月廿	旅順口臨時海軍分會議判士令	旅順口
三月廿	免本職補敷島分隊長	海軍省
六月廿	旅順口臨時海軍分會議判士令免	旅順口
九月廿	免本職	海軍省
九月廿	海軍砲術練習所學生被仰付	海軍省
九月廿	主上被免	海軍省
九月廿	補海軍兵學校砲術教官兼監事	海軍省
九月廿	免本職兼補敷島分隊長	海軍省
四月一	叙功五級授金鷄勳章	
	叙勳五等授雙光旭日章	
九月廿	免本職補敷島砲術長兼分隊長	
九月廿	免本職	
九月廿	兼補敷島分隊長	
九月廿	免本職	

光緒二十一年  
軍令部出仕

Doc 7524-P4

五月廿日 免本職補佐世保鎮守府參謀兼副官	
五月廿日 免本職並兼取	
海軍大學校中種學生被仰付	
五月廿日 叙從六位	
五月一日 任海軍少佐	
海軍大學校中種學生教程卒業三月學生被免	
補香取佐術長	
五月廿日 軍事視察ノ為之清國出張被仰付	海軍省
大正元年九月省 太喪儀參列瑞西國特派使節接伴員被仰付	宮内省
付	
九月廿日 免本職補海軍省軍務局之員兼海軍教育	海軍省
本部之員	
二月廿日 免本職並兼取米岡駐在被仰付	令
五月廿日 叙勳三等授瑞寶章	
三月廿一日 任海軍中佐	内閣

四年二月十日	叙正六位	
四月一日	歸朝被仰付	海軍省
五月廿日	免米國駐在補日進副長	人
五月廿日	免本職補監手副長	
五月廿七日	叙勳三等授瑞寶章 <small>勳章六等 勳章五等 勳章四等 勳章三等 勳章二等 勳章一等</small>	
五年八月廿日	免本職補海軍省人事局公員	
七年三月一日	任海軍大佐	内閣
	補海軍省人事局第一課長	海軍省
	文官普通懲戒委員ヲ命ス	人
	敘從五位	
八年壹月拾日	特命檢閱使附被仰付	人
八月廿七日	免本職補平戸艦長	
五月廿日	文官懲戒委員ヲ命ス	
九年五月廿日	免本職	





大正五年九月廿六日	授勳二等授瑞寶章	司令官	海軍省
大正五年八月廿日	免本職補海軍司令部出仕	海軍省	
昭和元年貳月壹日	免本職補練習艦隊司令官	海軍省	
昭和二年三月一日	任海軍中將	內閣	
昭和三年一月十號	補海軍軍令部出仕	海軍省	
昭和二年十二月廿八日	敘從四位	海軍省	
昭和三年十二月十日	補海軍軍令部校長	海軍省	
昭和五年六月十日	補海軍軍令部次長	海軍省	
昭和五年六月十八日	資源審議會委員被仰付	內閣	
昭和五年六月廿一日	宮内省御用掛ヲ命ス	宮内省	
昭和六年十月十日	補海軍軍令部主任	海軍省	
昭和六年十月廿一日	資源審議會委員被免	海軍省	
昭和六年十月廿四日	宮内省御用掛被免	宮内省	

[illegible]



昭和十年二月十五日	鼓從三位	
昭和十年十二月四日		
昭和九年四月廿九日	授旭日大綬章	倫敦ニ於ケル海軍軍縮會議ニ全權委員トシテ參列被仰付
昭和十一年三月九日	任海軍大臣	昭和六年乃至九年事變ノ功
昭和十一年三月九日	免本職	内閣
昭和十二年二月二日	依願免本官	海軍省
昭和十二年二月二日	補聯合艦隊司令長官兼第一艦隊司令長官	内閣
昭和十二年七月一日	司令長官	内閣
昭和十二年七月一日	免本職並兼職	内閣
昭和十二年七月一日	補軍事參議官	内閣
昭和十二年七月十三日	補議定官	官報不登載
昭和十三年三月一日	被正三位	内閣

Doc 7524.P10

EX 119

昭和十三年十二月二日	銀杯壹組ヲ賜フ	日精防共協定ノ功	
昭和十四年三月廿五日		特命檢閱使被仰付	海軍省
昭和十六年三月廿五日		海軍省臨時大務委員	海軍省
昭和十六年三月廿五日		長被仰付	海軍省
昭和十六年三月廿五日	補軍令部總長		内閣
昭和十八年三月十五日	紋從二位		
昭和十八年六月廿一日	元帥府列等時 元帥、斜號ヲ賜フ		内閣
昭和二十年十月三十日	勅令第六百六十九號ニ依リ元帥府條例廢止ニ付元帥ハ自然消滅トナル		

FILE COPY  
RETURN TO ROOM 361